

プレゼンテーションマウス 取扱説明書 (詳細版)

第 1 版 (2012年1月)

◆特長

- ・ 本製品はジャイロセンサー、加速度センサーを搭載し、手首の自然な動きでマウスカーソルを操作できる無線空間認識式プレゼンターです。
- ・ 本製品ではマウスと同様にPCを直接コントロールでき、効果的なプレゼンテーションを演出します。
- ・ 付属の専用ソフトウェア「zmotion2」を使用すれば、ソフトウェアレーザービーム、クリップアート、スポットライト、ズーム、ペン、蛍光ペン、アラーム等、数々の機能をお使いいただけます。
- ・ 付属の専用ソフトウェア「zmotion2」を使用すれば、各ボタンにマルチメディアキー及び多彩なカスタマイズキー機能を割り当てることができ、用途に合わせた自分だけの多機能ワイヤレスマウスをお使いいただけます。

◆安全上のご注意

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。

- 本製品を使用するときは必ずパソコンメーカーが提示する警告、注意事項に従ってください。
- 本製品が破損した場合は使用を中止してください。けがの原因となります。
- 分解改造は絶対にしないでください。それによるトラブル・火災・感電には一切の責任を負いかねます。
- 使用中に煙が出たり、異臭がしたら、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると感電や火災の原因となります。
- 小さなお子様の手が届くところには配置・保管しないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。発熱、発煙、発火や回路部分を破壊させる原因となります。
- 濡れた手で触るなど、本体を濡らさないでください。感電、発熱、故障の原因となります。
- 故障や火災の原因となるので強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 直射日光のあたる場所や炎天下の車内など、高温の場所で使用、放置しないでください。変更・故障の原因となります。
- 本製品が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。濡れた布などで拭くと故障の原因になります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと変形や変色することがありますので使用しないでください。
- 電池の方向は正しく入れてください。故障の原因となります。
- 種類の違い電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

- ④ 電池交換は子供のいない場所でおこなってください。電池などを飲み込むおそれがあります。
- ④ 長期間使用しない場合は、電池を取り外してから保管してください。電池の液漏れなどにより故障の原因となります。
- ④ 電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体のルールに従ってください。
- ④ 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

◆健康に関する注意

- ④ 本製品を長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。

操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によって医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

◆使用上のご注意

- ④ 本製品は2.4GHzの周波数帯域を用いて無線通信をおこなっております。工事設計認証を取得しておりますが、本製品をご使用の際、周囲に同周波数帯域を用いて無線通信をおこなう製品がある場合、まれに電波干渉を引き起こす可能性があります。その場合は他の製品の電源を切るか、電波障害を移動してください。
- ④ Windows及びご使用のアプリケーションによって動作しない場合や異なる動作をすることがあります。
- ④ 本ソフトウェアで設定されているキー及びショートカット機能が、すでに他のソフトウェアに割り当てられている場合は、それらの機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、他のソフトウェアを終了させてください。

目 次

第1章：製品概要

1. 製品説明及び各ボタンの機能
2. 電池の入れ方
3. パソコンとの接続方法
4. 使用方法

第2章：専用ソフトウェア「zmotion2」

1. プログラムのインストール/アンインストール
 - 1-1. プログラムのインストール方法
 - 1-2. プログラムのアンインストール方法
2. プログラムの開始及び終了
 - 2-1. プログラムの開始方法
 - 2-2. プログラムの終了方法
3. 各機能の設定
 - 3-1. 「一般」設定
 - 3-2. 「レーザービーム」設定
 - 3-3. 「クリップアート」設定
 - 3-4. 「スポットライト」設定
 - 3-5. 「ズーム」設定
 - 3-6. 「ペン」設定
 - 3-7. 「蛍光ペン」設定
 - 3-8. 「振動」設定
 - 3-9. 「キー設定」
 - 3-10. 「アラーム」設定
4. 各機能の使用方法
 - 4-1. ソフトウェアレーザービーム
 - 4-2. クリップアート
 - 4-3. スポットライト
 - 4-4. ズーム
 - 4-5. ペン
 - 4-6. 蛍光ペン
5. サポート
 - 5-1. 困った時には
 - 5-2. よくある質問

第1章：製品概要

1. 製品説明及び各ボタンの機能

＜主な機能＞

- ◆ 無線3次元空間認識プレゼンター
- ◆ ページ送り/戻し、Black Screen等の機能
- ◆ 空間認識を利用したマウス機能
- ◆ RFモジュール使用：2.4GHz RF IC, 100Hz 高速通信
- ◆ ソフトウェアレーザービーム機能
- ◆ 送・受信機の接続時 1:1固定ID使用方式で、混線防止機能
- ◆ ソフトウェア特有機能：ソフトウェアレーザービーム、クリップアート、スポットライト、ズーム、ペン、蛍光ペン、振動、アラーム
- ◆ 空間認識 ON/OFF 機能
- ◆ 付属の専用ソフトウェア「zmotion2」でキー割り当て可能
- ◆ マルチメディアキー対応（キー割り当て機能）
- ◆ アラーム機能対応（振動でアラーム）

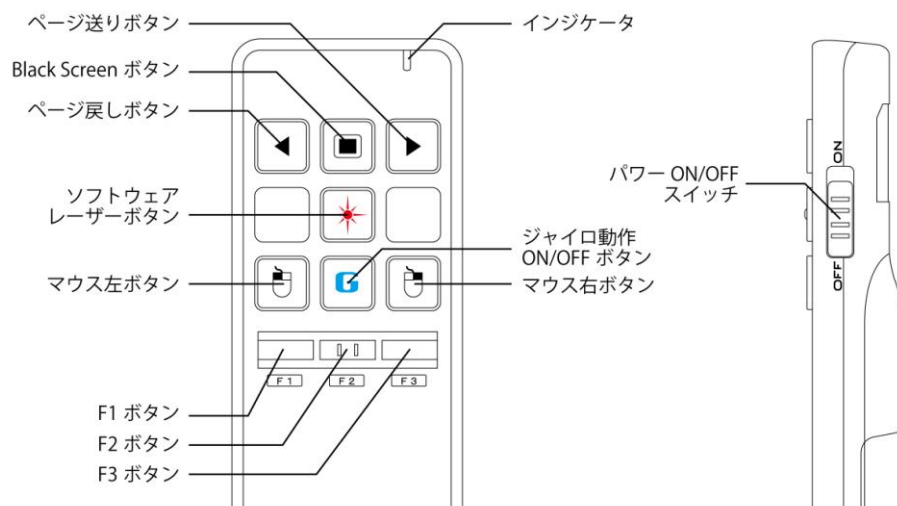
＜主な特徴＞

- ◆ 人体工学に基づいたデザイン
 - ・ 使用時、最適なグリップ感。携帯に便利な専用ポーチ付き。
- ◆ プレゼンター機能完備
 - ・ ページ戻し/送り、ソフトウェアレーザービーム、Black Screen等
- ◆ 無線3次元空間認識プレゼンター
 - ・ 慣性航法システムを利用した世界最高の空間認識感度
 - ・ 一般マウスの左/右クリックボタン 対応によって、空間上でマウスを操作可能
 - ・ X, Y, Z 3軸の使用で本製品を逆さまにしても正常に位置を認識
- ◆ 専用ソフトウェア「zmotion2」でさらに多彩な機能を実現
 - ・ 様々な形状、色、大きさのソフトウェアレーザービームを提供
 - ・ クリップアート、スポットライト、ペン、蛍光ペン、ズーム機能に対応（※1）
 - ・ キー割り当て機能対応
 - 専用ソフトウェア「zmotion2」により、ページ戻し、ページ送り、Black Screen, F1, F2, F3キーの機能をカスタマイズ可能
 - マルチメディアキー：前のトラック、次のトラック、再生/停止、ミュート、音量減少、音量増加、ホームボタン、検索、お気に入り、メール、電源待機モード、電源を切る
 - パワーポイント機能：スライドショースタート/終了、Black Screen、クリップアート、ズーム、ペン等（※1）
 - その他ユーザが指定するキー（※2）
 - ・ アラーム、及び振動機能対応
 - プレゼン終了時間を振動でアラーム、インターネットのリンクにマウスカーソルを置く時やウィンドウの「閉じる」、「開く」、「最大化」、「最小化」、「サイズの変更」の動作時に振動（※1、※3）

- ※1. 一部のキーはZmotion2実行時のみ動作します。
- ※2. 一部のキー（@、:、*、半角/全角など）には対応していません。
- ※3. リンクの上で振動する機能はInternet Explorerでのみ動作いたします。
 なお、ページの内容やInternet Explorerのバージョンにより動作しない場合があります。ウィンドウを「閉じる」、「開く」、「最大化」、「最小化」、「サイズの変更」をおこなう際の振動機能は、32ビットモードで実行されているアプリケーションにのみ有効です

<製品仕様>

項目	内容
初期機能	本体： ページ戻し、ページ送り Black Screen ソフトウェアレーザービーム マウス左クリック、右クリック スポットライト、ペン、蛍光ペン 受信機： 本体との無線データ通信
製品構成	本体、受信機、収納ポーチ、取扱説明書、CD-ROM（専用ソフトウェア）
本体寸法	本体：36mm×117mm×16mm / 受信機：14mm×19mm×7mm
重さ	本体：36g（電池除く） / 受信機：2g
PCインターフェース	USB 1.1以上
通信プロトコル	RF 2.4GHz
動作距離	最大15m（使用環境により異なります）
使用時間	約22時間（弊社テスト値であり保証値ではありません）
電源	単四アルカリ乾電池×2個
使用環境	Microsoft Windows XP、Vista、7
規格認証	工事設計認証 本 体： 008WWA110300 受信機： 008WWA110301



<各ボタン機能説明（一般モード / ソフトウェア実行モード）>

① 一般モード：専用ソフトウェア「zmotion2」が実行されてない状態

NO	各ボタンの名称	内容
1	パワーON/OFF ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーON/OFF機能 ※ボタンの入力がない状態で 約40分間放置しますと、自動的にスリープモードへ転換します。
2	ソフトウェアレーザー ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご使用いただけません。
3	ジャイロ動作ON/OFF スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空間認識動作の「ON/OFF」を切り替えます。
4	マウス左ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常のマウス左ボタンとしてご使用いただけます。
5	マウス右ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常のマウス右ボタンとしてご使用いただけます。
6	ページ戻しボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページ戻し 機能（PowerPoint使用時のみご利用いただけます。）
7	ページ送りボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページ送り 機能（PowerPoint使用時のみご利用いただけます。）
8	Black Screenボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を暗転します。
9	F1ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期状態ではご使用いただけません。（キー設定を割り当てることで一部の機能をご利用いただけます。）
10	F2ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期状態ではご使用いただけません。（キー設定を割り当てることで一部の機能をご利用いただけます。）
11	F3ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期状態ではご使用いただけません。（キー設定を割り当てることで一部の機能をご利用いただけます。）

② ソフトウェア実行モード：専用ソフトウェア「zmotion2」実行時

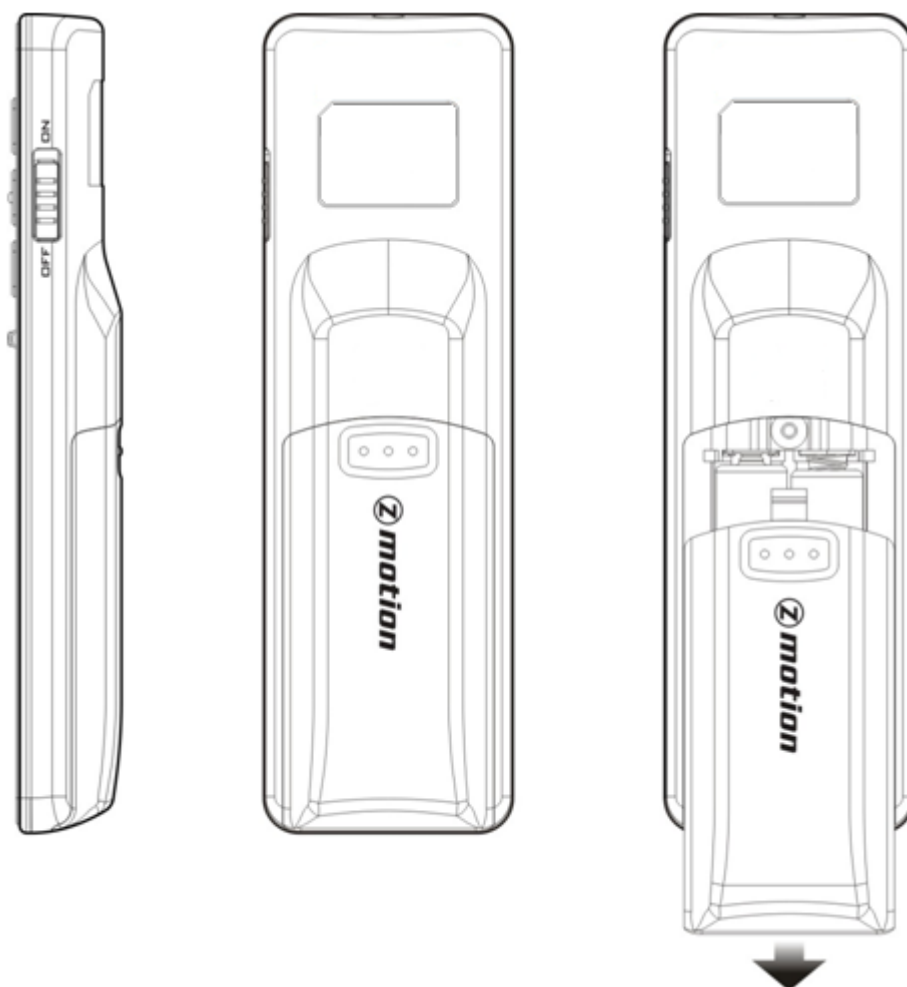
NO	各ボタンの名称	内容
1	パワーON/OFF ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーON/OFF機能 ※ボタンの入力がない状態で 約40分間放置しますと、自動的にスリープモードへ転換します。
2	ソフトウェアレーザー ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを押し続ける間、ソフトウェアレーザーが画面に表示されます。
3	ジャイロ動作ON/OFF スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空間認識動作の「ON/OFF」を切り替えます。
4	マウス左ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常のマウス左ボタンとしてご使用いただけます。 ・ クリップアート、スポットライト等ソフトウェア特有の機能をお使いの際は、ドラッグ・ドロップ操作で画面の図形を操作することができます。 ☞ 「4. 各機能の使用方法」参照
5	マウス右ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常のマウス右ボタンとしてご使用いただけます。 ・ クリックすると最後に描画された図形や筆跡を削除します。 1秒以上押し続けると、描画されたすべての図形や筆跡を削除します。 ☞ 「4. 各機能の使用方法」参照
6	ページ戻しボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページ戻し 機能（PowerPoint使用時のみご利用いただけます。また、キー設定を割り当てることで様々な機能をご利用いただけます。）
7	ページ送りボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページ送り 機能（PowerPoint使用時のみご利用いただけます。また、キー設定を割り当てることで様々な機能をご利用いただけます。）
8	Black Screenボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ Black Screen 機能 （キー設定を割り当てることで様々な機能をご利用いただけます。）
9	F1ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポットライト機能 （キー設定を割り当てることで様々な機能をご利用いただけます。） ☞ 「4. 各機能の使用方法」参照
10	F2ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペン機能 （キー設定を割り当てることで様々な機能をご利用いただけます。） ☞ 「4. 各機能の使用方法」参照
11	F3ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蛍光ペン機能 （キー設定を割り当てることで様々な機能をご利用いただけます。） ☞ 「4. 各機能の使用方法」参照

2. 電池の入れ方

- ① 図に従い、送信機裏面の電池カバーを下方方向へスライドさせてください。
- ② 単四乾電池2本を、+/-の向きをご確認の上、電池ポーチにセットしてください。
(電池ポーチ内に電池のセット方向が表示されています。)
- ③ 再び電池カバーを元に戻してください。

<注意>

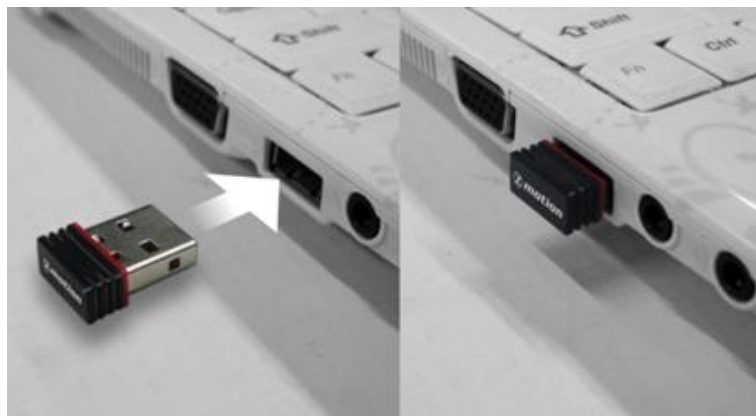
- ◆ 電池の+/-の向きを間違えないように入れてください。
- ◆ 長時間使用しないときは電池を外して保管してください。
- ◆ 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ LEDが赤色に点滅したら、新しい電池に交換してください。



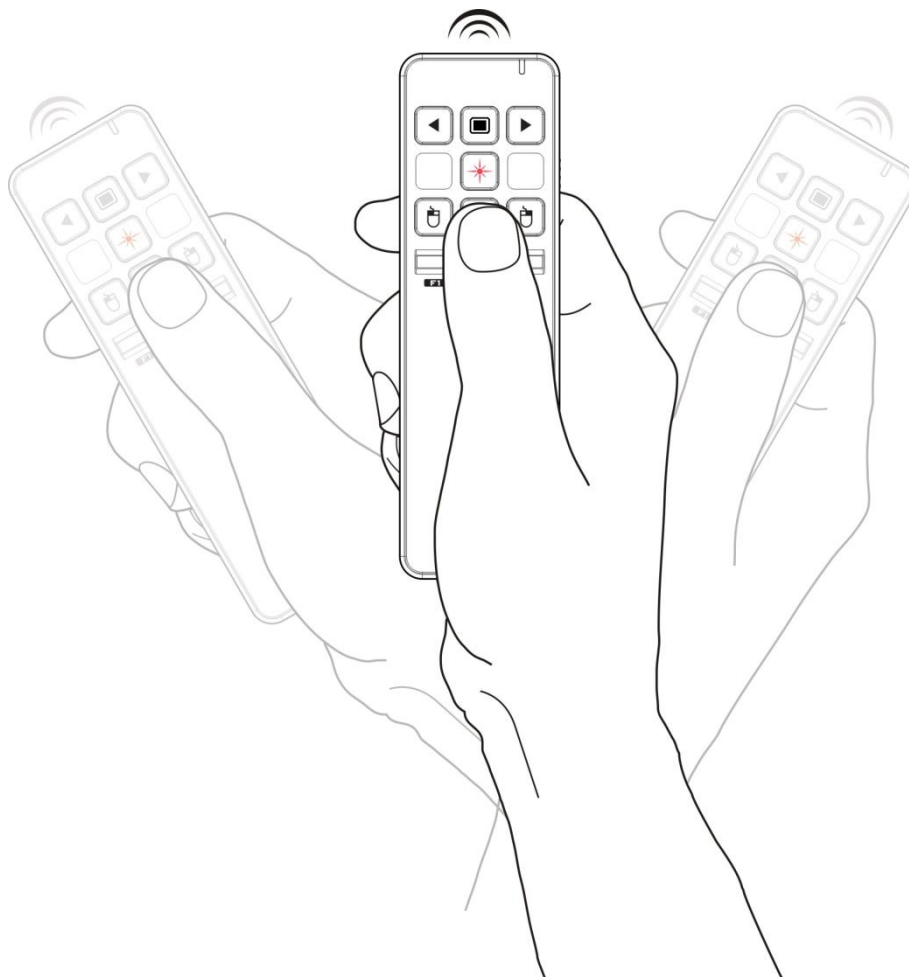
3. パソコンとの接続方法

- ① パソコンのUSBポートに受信機を接続します。
- ② 本体のパワーON/OFFスイッチをONにしてください。
- ③ 本体のインジケーターが一瞬赤く点灯した後、緑色の点滅に切り替わります。
- ④ 本体の初期化及び受信機との通信が成功すると、インジケーターが緑色に点灯し、使用可能な状態になります。
- ⑤ 使用しないときはパワーON/OFFスイッチをOFFにしてください。

※ 本体の電源をONに切り替えた際、正常に初期化できず、正常に動作しない場合があります。その際は、パワーON/OFFスイッチをOFFにしてから再度ONにしてください。



4. 使用方法



本製品をしっかりと保持し、手首を傾けることでマウスカーソルを操作することができます。
各ボタンの操作については「各ボタンの機能説明」をご確認ください。

第2章：専用ソフトウェア「zmotion2」

専用ソフトウェアをインストールすることにより本製品をより効果的にお使いいただくことができます。以下の説明に従い、ソフトウェアのインストール/アンインストールをおこなってください。

1. プログラムのインストール/アンインストール

1-1. プログラムのインストール方法

同梱のCD-ROMにインストールファイルが含まれています。弊社のホームページからもインストールファイルをダウンロードすることができます。

※CD-ROMは直径80mmの小型タイプです。お使いのパソコンによっては使用できない可能性があります。その際は弊社ホームページよりインストールファイルをダウンロードしてください。

- ① USBコネクターの向きをよく確認し、レシーバーをパソコンのUSBポートに接続してください。
- ② 同梱のCD-ROMをパソコンにセットしてください。
- ③ ファイル「zmotion2_setup_jpn.exe」を実行してください。
- ④ 画面の表示に従い、ソフトウェアをインストールしてください。
- ⑤ インストールが完了するとデスクトップにアイコン「zmotion2」が作成されます。

1-2. プログラムのアンインストール方法

専用ソフトウェア「zmotion2」をパソコンから完全に削除する場合は、下記の手順でアンインストールを実行してください。

- ① 実行中のソフトウェア「zmotion2」を終了してください。

※終了方法については下記の2-2「プログラムの終了方法」をご参照ください。

[Windows 7/Vista] : 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」→「zmotion2」→「アンインストールと変更」

[Windows XP] : 「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」→「zmotion2」→「削除」

- ② 画面の表示に従い、ソフトウェアをアンインストールしてください。

※パソコンの再起動を要求される場合があります。現在開いているファイルを保存しパソコンを再起動してください。

2. プログラムの開始及び終了

2-1 プログラムの開始方法

- ①□ デスクトップのzmotion2アイコンをダブルクリックします。



- ②□ ソフトウェアが起動し、本製品との通信に成功できた場合は、タスクバーにzmotion2のアイコンが赤く表示されます。ソフトウェア「zmotion2」が提供する各機能がお使いいただけます。

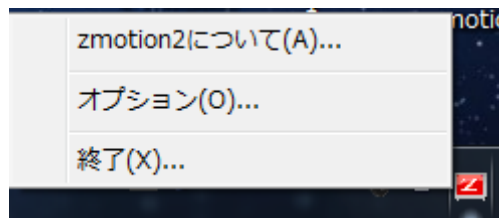


正しく接続されていない場合は、タスクバーに「zmotion2」のアイコンがグレーで表示されます。この場合はソフトウェアを終了して、レシーバーを挿しなおし、再びソフトウェアを起動してください。



2-2 プログラムの終了方法

zmotion2のアイコン上で右クリックメニューから「終了」を選択してください。

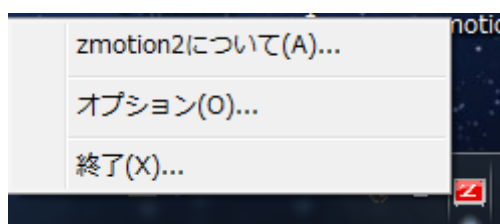


3. 各機能の設定

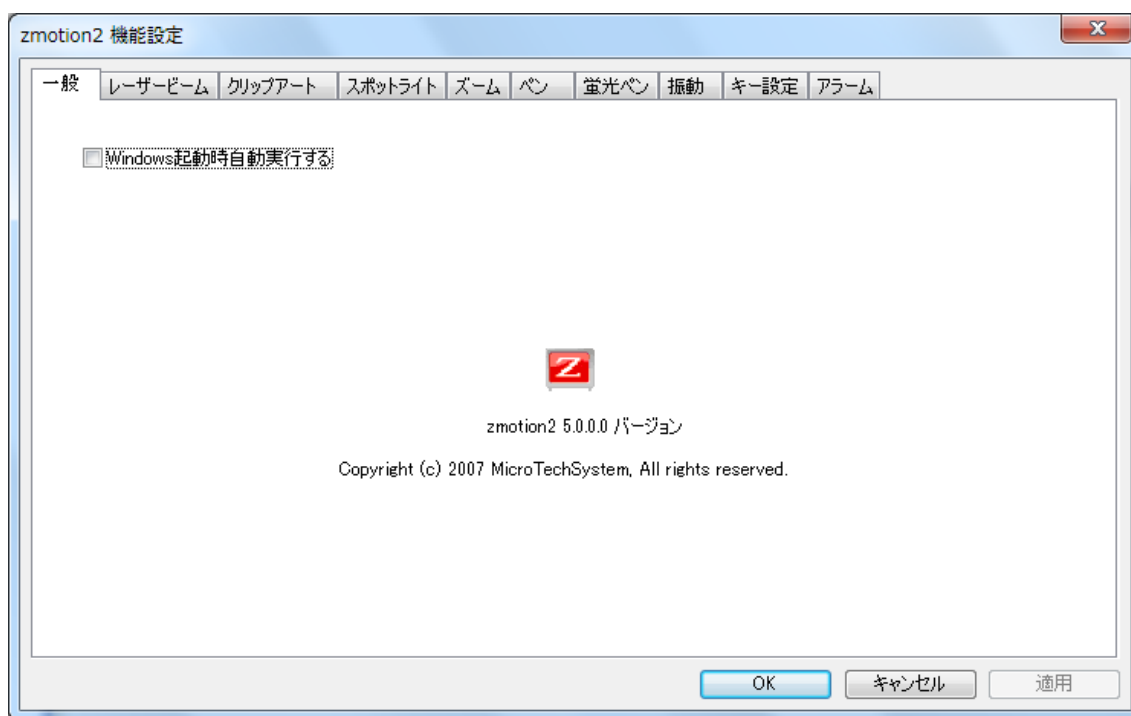
タスクバーのzmotion2のアイコン上でマウスを右クリックし、メニューから「オプション」選択します。

「zmotion2 機能設定」ウィンドウが表示されます。

※「zmotion2 機能設定」ウィンドウ表示中は一部の機能がご使用いただけません。「zmotion2 機能設定」ウィンドウを閉じてから各機能を実行してください。



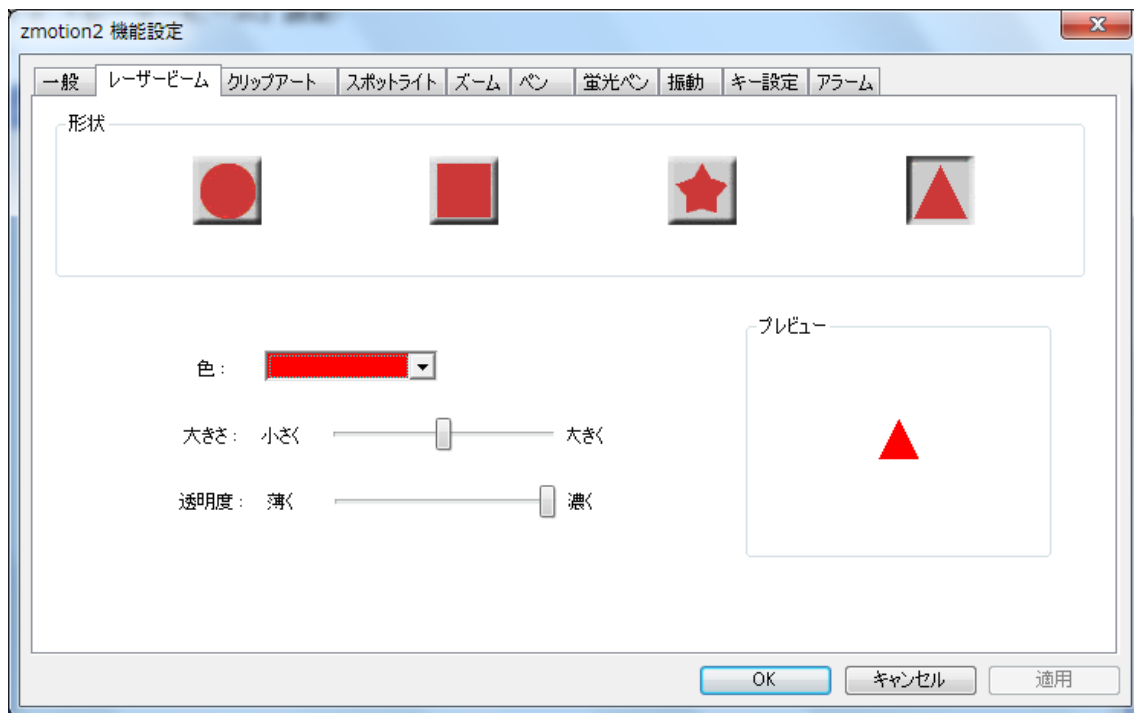
3-1 「一般」設定



本ソフトウェアをスタートアップに登録することでパソコン起動時に自動で実行することができます。

※お使いのOSおよびユーザ権限によって設定できない場合があります。

3-2 「レーザービーム」設定



【レーザービームの形状を変更する】

- ・「形状」項目からお好みの形状を選択してください。

【レーザービームの色を変更する】

- ・「色」項目のダウンボタンを選択するとカラーパレットが表示されます。
- ・お好みの色を選択してください。

【レーザービームの大きさを変更する】

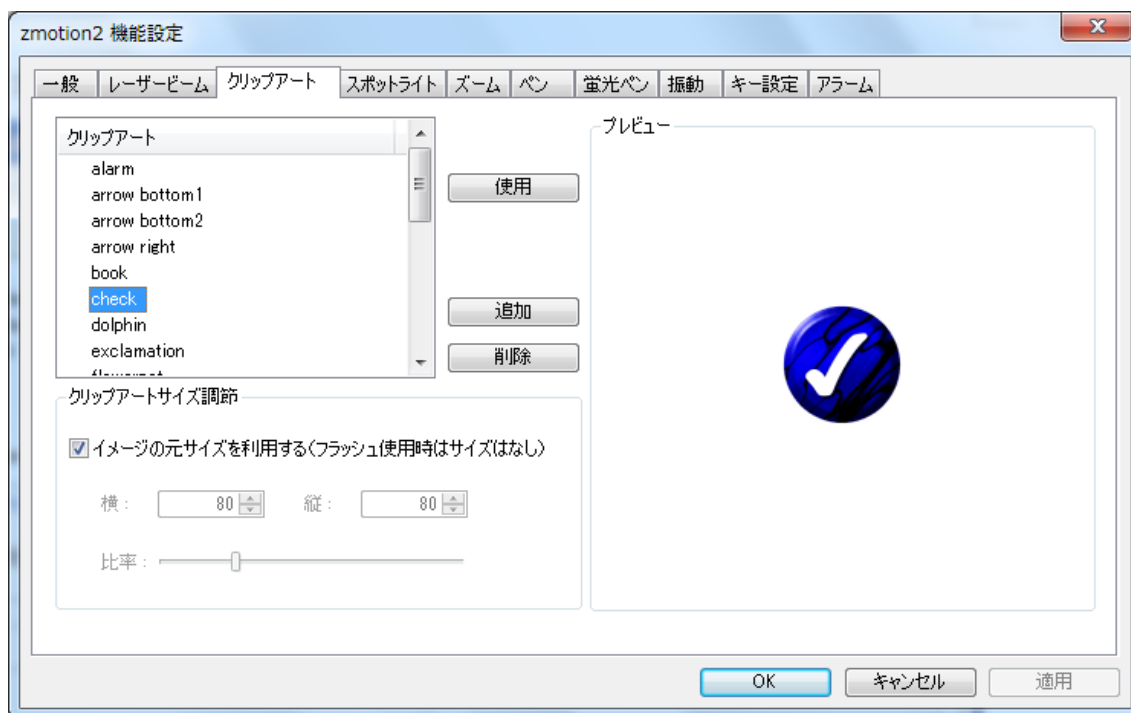
- ・「大きさ」項目のバーを左右にスライドすると、サイズを変更できます。

【レーザービームの透明度を変更する】

- ・「透明度」項目のバーを左右にスライドすると、透明度を変更できます。

- 設定されたレーザービームはプレビューウィンドウで確認できます。
- 「OK」または「適用」ボタンを選択し、レーザービームの設定を保存します。

3-3 「クリップアート」設定

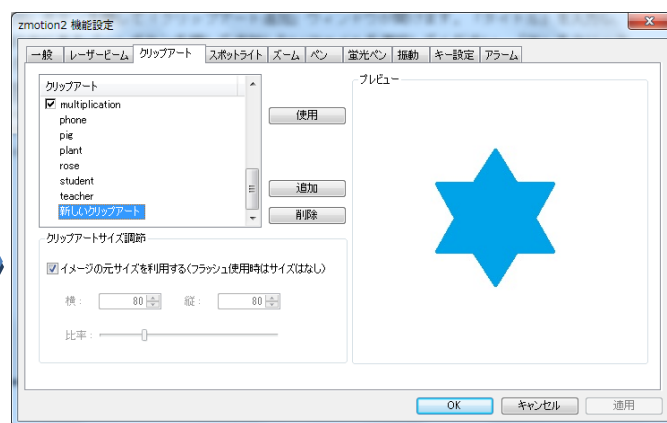
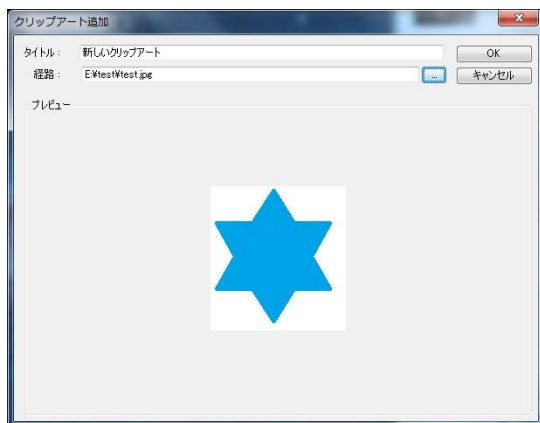


【表示するクリップアートを設定するには】

- ・リストから使いたいクリップアートを選択し、「使用」ボタンを押してください。
- ・「横」と「縦」の値を指定することでクリップアートのサイズを変更することができます。
比率バーをスライドさせると、比率を保ったままサイズを変更できます。
- ・新しいクリップアートを追加できます。

【クリップアートを追加するには】

- ・「追加」ボタンを押すと「クリップアート追加」ウィンドウが表示されます。
- ・「タイトル」を入力し、追加するクリップアートのタイトルを決定します。
- ・経路欄の右にある「…」ボタンを押し、追加したいファイルを参照してください。
- ・「OK」を選択するとクリップアートがリストに追加されます。



※クリップアートに対応したファイルの形式は「bmp」、「gif」、「jpg」、「jpeg」、「tif」、「swf」です。上記ファイル形式あってもファイルの設定によりご利用いただけない場合があります。

※画面にクリップアート（特にswfファイル）を多数設置すると、PCのパフォーマンスを著しく低下させる場合があります。

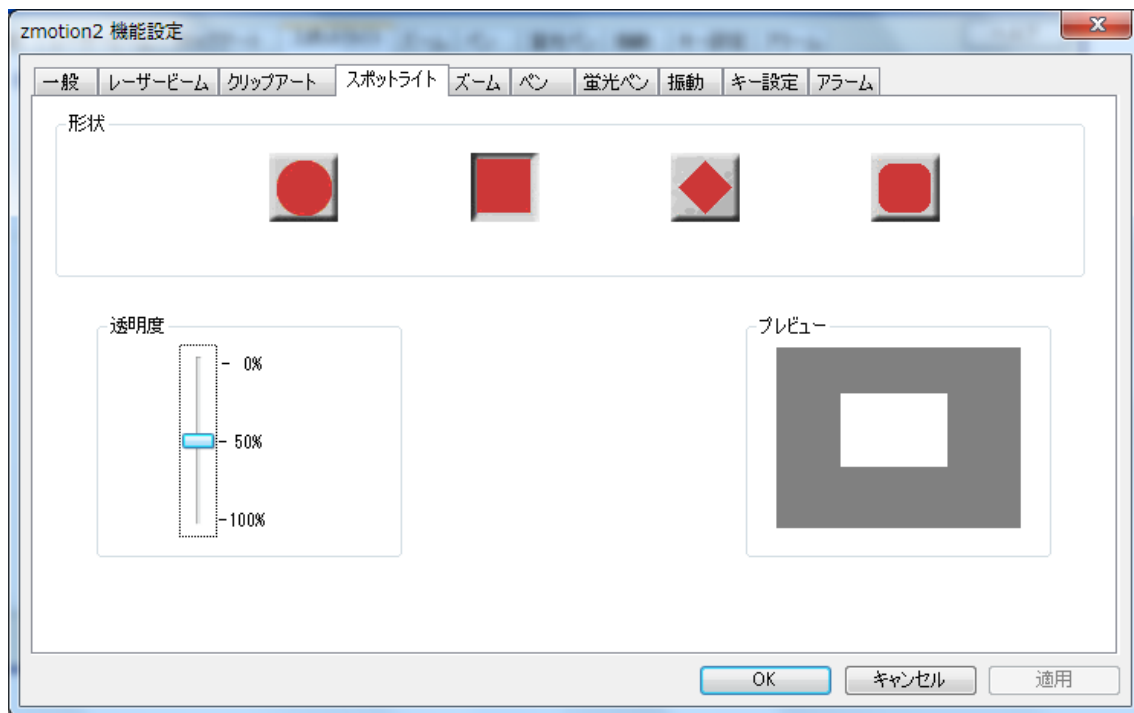
【クリップアートを削除するには】

- ・削除したいクリップアートをリストから選択し、「削除」ボタンを押してください。

●設定されたクリップアートはプレビューウィンドウで確認できます。

●「OK」または「適用」ボタンを選択し、クリップアートの設定を保存します。

3-4 「スポットライト」設定



【スポットライトの形状を変更する】

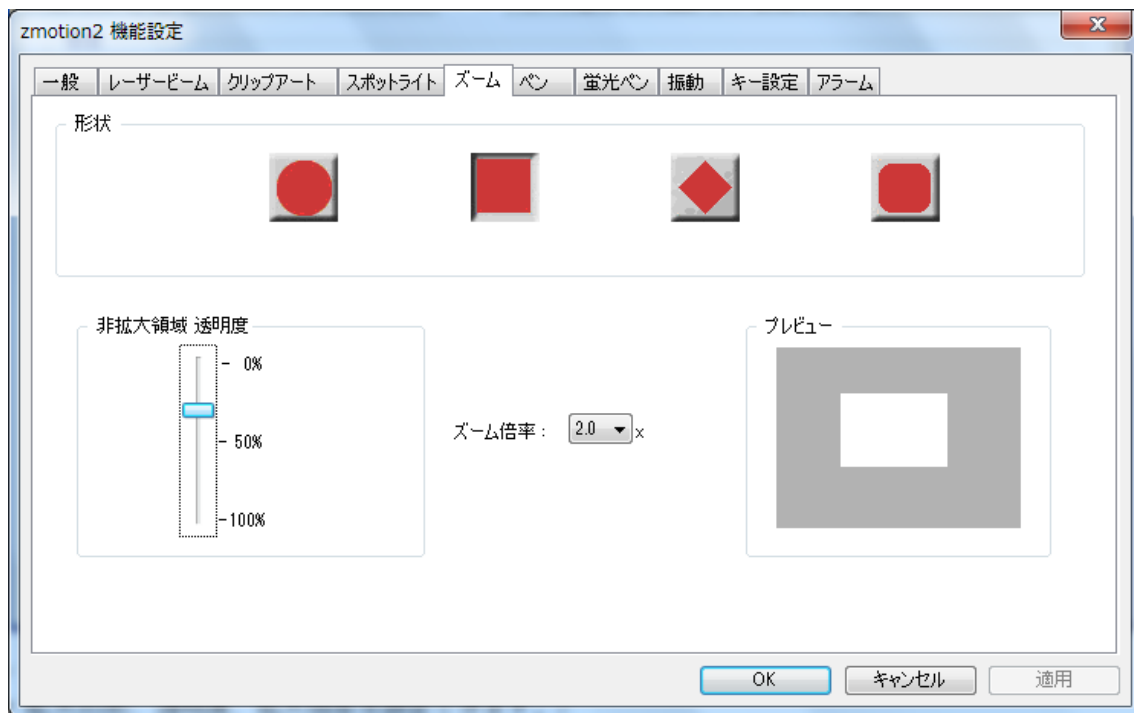
- ・「形状」項目からお好みの形状を選択してください。

【スポットライトの透明度を変更する】

- ・「透明度」項目のバーを上下にスライドすると、透明度を変更できます。

- 設定された形状はプレビューウィンドウで確認できます。
- 「OK」または「適用」ボタンを選択し、スポットライトの設定を保存します。

3-5 「ズーム」設定



【ズーム領域の形状を変更する】

- ・「形状」項目からお好みの形状を選択してください。

【ズーム時の非選択領域の透明度を変更する】

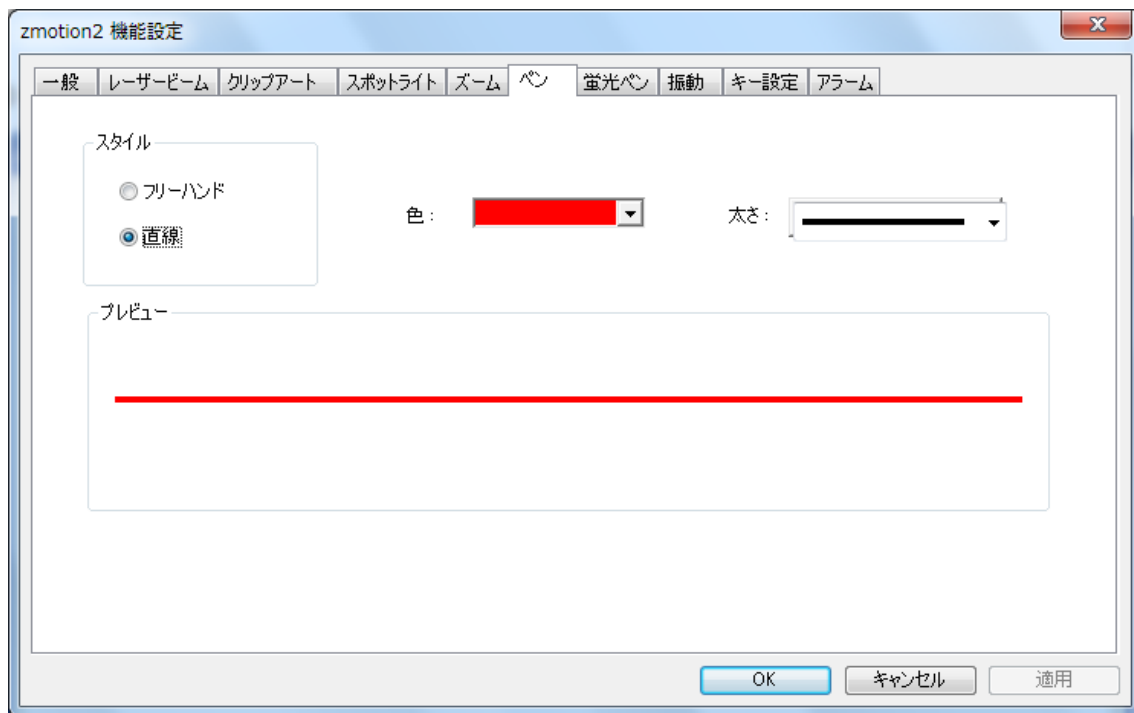
- ・「非ズーム領域 透明度」項目のバーを上下にスライドすると、ズーム時の非選択領域の透明度を変更できます。

【ズーム倍率を変更する】

- ・「ズーム倍率」項目のダウンボタンを選択し、お好みの数値を選択してください。

- 設定された形状はプレビューウィンドウで確認できます。
- 「OK」または「適用」ボタンを選択し、ズーム設定を保存します。

3-6 「ペン」設定



【スタイルを変更する】

- ・「スタイル」項目からお好みのスタイルを選択してください。

【描画色を変更する】

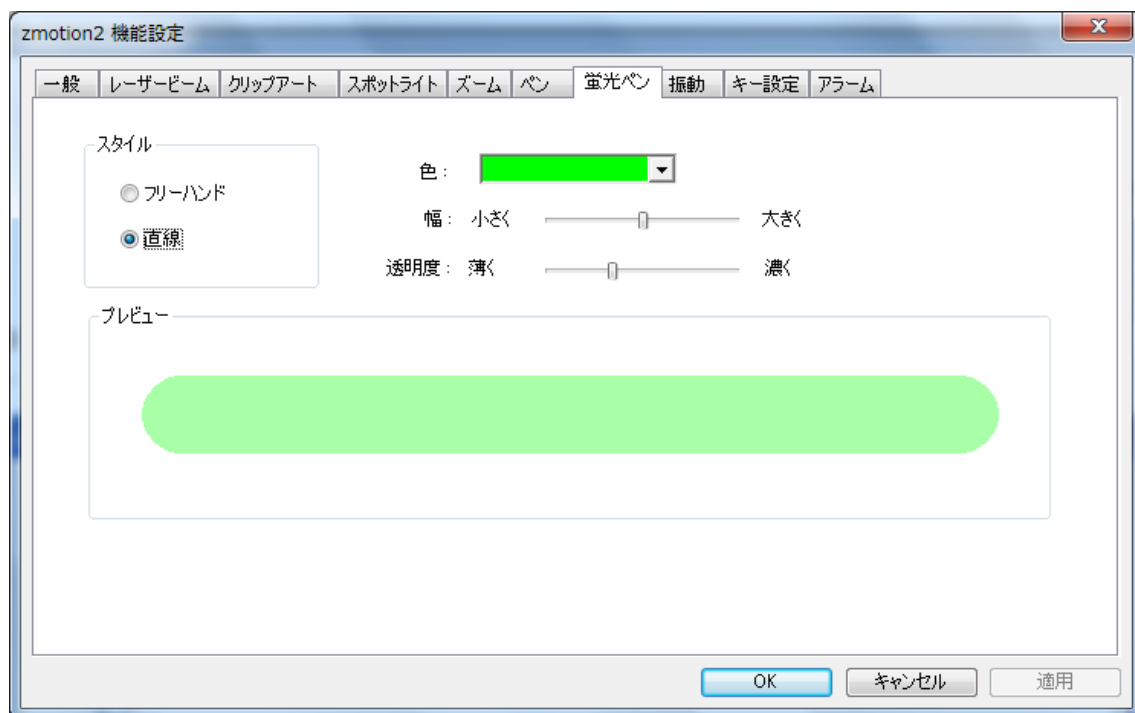
- ・「色」項目のダウンボタンを選択するとカラーパレットが表示されます。
- ・お好みの色を選択してください。

【太さを変更する】

- ・「太さ」項目のダウンボタンを選択し、お好みの数値を選択してください。

- 設定された形状はプレビューウィンドウで確認できます。
- 「OK」または「適用」ボタンを選択し、ペン設定を保存します。

3-7 「蛍光ペン」設定



【スタイルを変更する】

- ・「スタイル」項目からお好みのスタイルを選択してください。

【描画色を変更する】

- ・「色」項目のダウンボタンを選択するとカラーパレットが表示されます。
- ・お好みの色を選択してください。

【線幅を変更する】

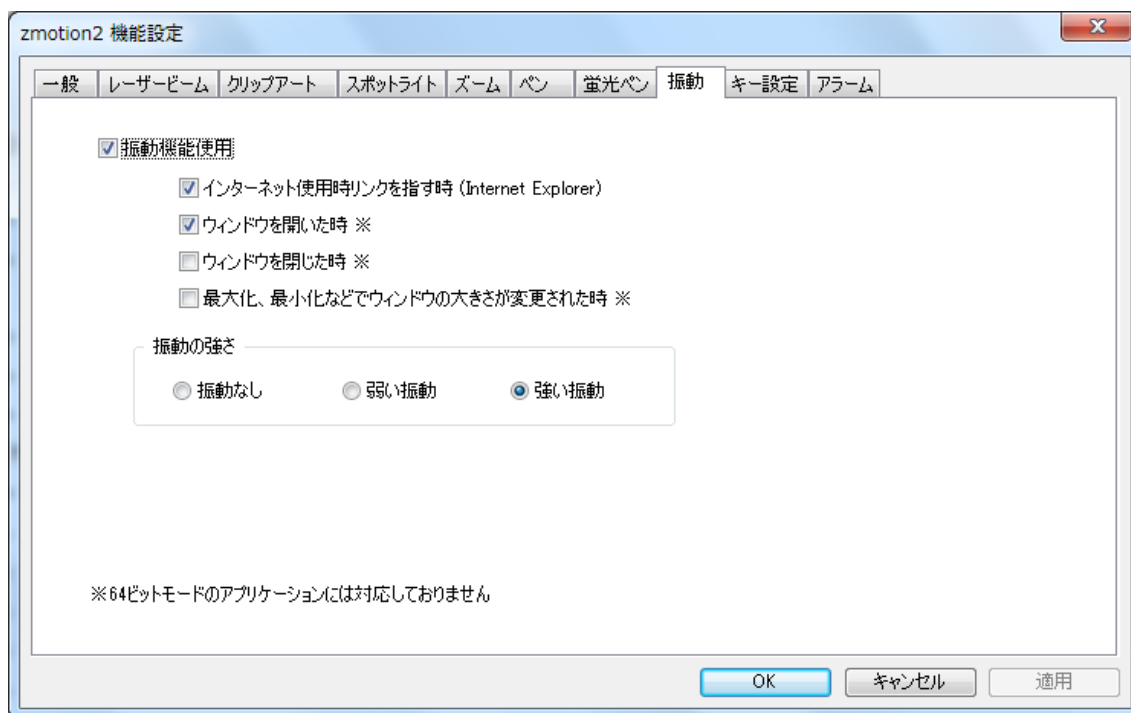
- ・「幅」項目のバーを左右にスライドすると、線幅を変更できます。

【透明度を変更する】

- ・「透明度」項目のバーを左右にスライドすると、透明度を変更できます。

- 設定された形状はプレビューウィンドウで確認できます。
- 「OK」または「適用」ボタンを選択し、蛍光ペンの設定を保存します。

3-8 「振動」設定



本製品の振動設定をおこないます。チェックボックスの切り替えにより各項目を設定できます。

【振動機能使用】

- ・ 振動機能を使用するか否かを設定します。

【インターネット使用时リンクを指す時 (Internet Explorer)】※

- ・ ウェブページ閲覧中、カーソルがリンク上に移動した際、本体が振動します。
- ・ 本機能はInternet Explorer使用時のみ有効です

【ウィンドウを開いた (閉じた) 時】※

- ・ チェックするとウィンドウを開いた (閉じた) 時に本体が振動します。

【最大化、最小化などでウィンドウの大きさが変更された時】

- ・ チェックすると最大化、最小化などでウィンドウの大きさが変更された時に本体が振動します。

【振動の強さ】

- ・ 振動の強さを設定します。

- 「OK」または「適用」ボタンを選択し、蛍光ペンの設定を保存します。

※64ビットモードのアプリケーションには対応していません。

Internet Explorerなどお使いのソフトウェアのバージョンによっては動作しない場合があります。

3-9 「キー設定」



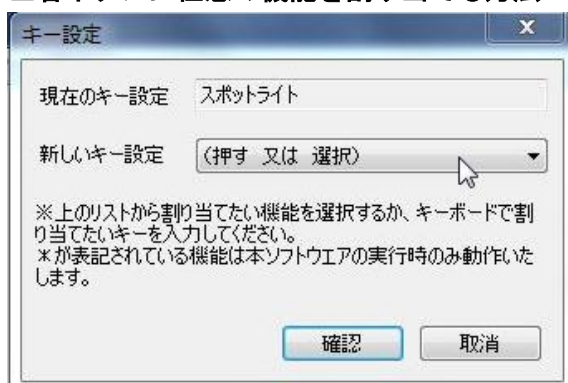
【各ボタンについて】

- ・「セーブする」：キー設定を変更した際、変更内容をキー設定ファイルとして保存します。
- ・「ロードする」：保存したキー設定ファイルを読み込みます。
- ・「初期化」：キー設定を製品購入時の状態に戻します。

【キーの設定方法】

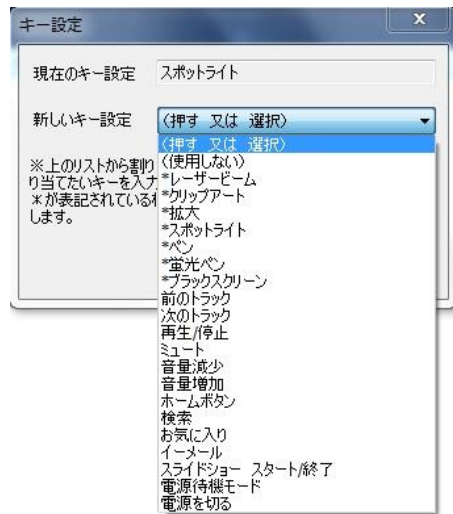
本製品は、上図で示す「Left」、「Center」、「Right」、「F1」、「F2」、「F3」ボタンに様々な機能やショートカットキーを割り当てることができます。各ボタンを押すと「キー設定」ウィンドウが表示されます。

■各ボタンに任意の機能を割り当てる方法



「新しいキー設定」項目のダウンボタンをクリックすると、ソフトウェアに登録された機能がリストで表示されます。

<キー設定ウィンドウ>



リストからお好みの機能を選択し、「確認」ボタンを押してください。

「キー設定」ウィンドウが閉じますので、「zmotion2 機能設定」ウィンドウの「OK」または「適用」ボタンを選択し、キー設定を保存してください。

【各機能の説明】

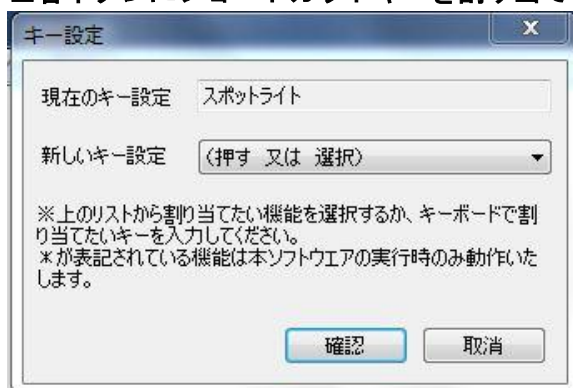
レーザービーム	: 画面にソフトウェアレーザービームが表示されます。※1
クリップアート	: 画面にクリップアートが表示されます。※1
ズーム	: 指定範囲をズーム表示します。※1
スポットライト	: 指定範囲外の明度を下げ、指定範囲を強調表示します。※1
ペン	: 画面上にペンを描画します。※1
蛍光ペン	: 画面上に蛍光ペンを描画します。※1
ブラックスクリーン	: 画面を暗転します。※1
前のトラック	: メディアプレイヤーで前のトラックへ移動します。※2
次のトラック	: メディアプレイヤーで次のトラックへ移動します。※2
再生/停止	: メディアプレイヤーでファイルを再生（停止）します。
ミュート	: ミュートします。
音量減少	: 音量を下げます。
音量増加	: 音量を上げます。
ホームボタン	: ウェブブラウザを表示し、既定のホームページを表示します。
検索	: 検索ウィンドウを表示します。
お気に入り	: ウェブブラウザのお気に入りを表示（非表示）します。（Internet Explorerのみ対応）
イーメール	: メールソフトウェアを起動します。
スライドショー	: PowerPointでスライドショーを開始（終了）します。
スタート/終了	
電源待機モード	: パソコンをスリープモードに移行します。※3
電源を切る	: パソコンをパワーオフします。※3

※1 本機能は専用ソフトウェア「zmotion2」起動時のみお使いいただけます。

※2 ご利用のプレイヤーソフトウェアによっては対応していない場合があります。

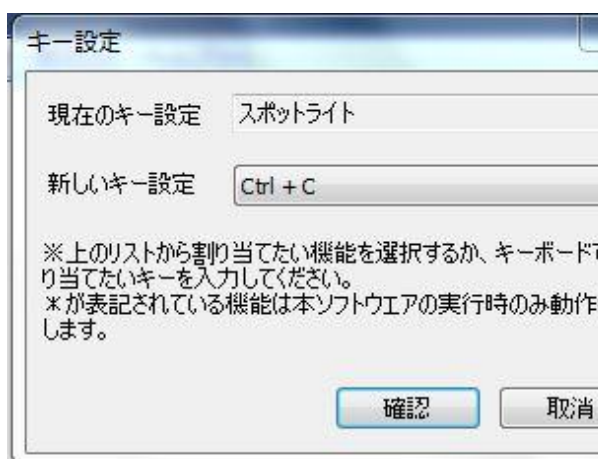
※3 PCの電源設定により異なる動作をすることがあります。

■各ボタンにショートカットキーを割り当てる方法



<キー設定ウィンドウ>

「キー設定」ウィンドウが表示されている状態でキーボードの任意のキーを押してください。

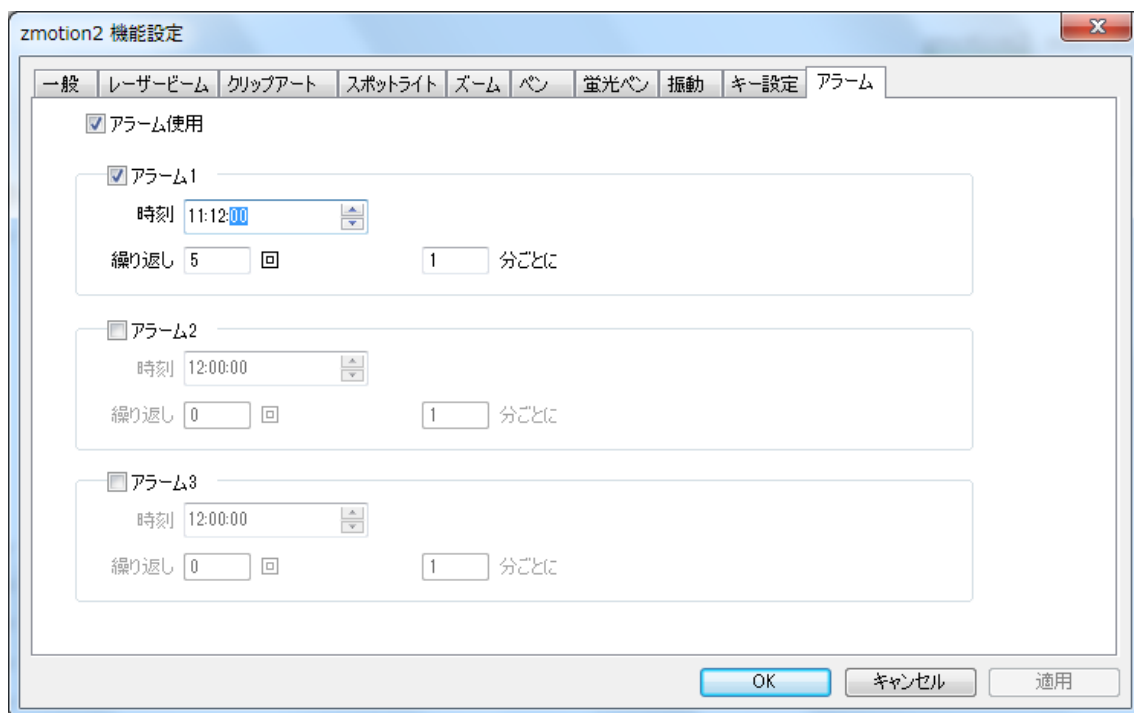


<例>

“Ctrl+C”を押した場合、左図の通り「新しいキー設定」に「Ctrl+C」が登録されます。

※一部のキー（@、:、*、半角/全角等）には対応していません。

3-10 「アラーム」設定



アラーム機能を設定すると、指定した時刻に本体が振動します。

【アラームの設定方法】

- ① ☐ 「アラーム使用」チェックボックスをチェックします。
- ② ☐ 「アラーム1」チェックボックスをチェックします。
- ③ ☐ 「時刻」テキストボックスを選択し、アラームを開始する時刻を決定します。
- ④ ☐ アラームを繰り返し作動させる場合は「繰り返し」テキストボックスに回数を入力し、「分ごとに」テキストボックスにアラームを作動させる間隔を入力します。

※上図設定では、「11 : 12 : 00にアラームが作動し、1分ごとに5回」アラームが作動します。

- ⑤ ☐ アラームを2つ以上設定する場合は、「アラーム2（3）」チェックボックスをチェックし、③、④の手順を繰り返してください。

4. 各機能の使用方法

専用ソフトウェア「zmotion2」を使用することで、様々な機能をお使いいただけます。

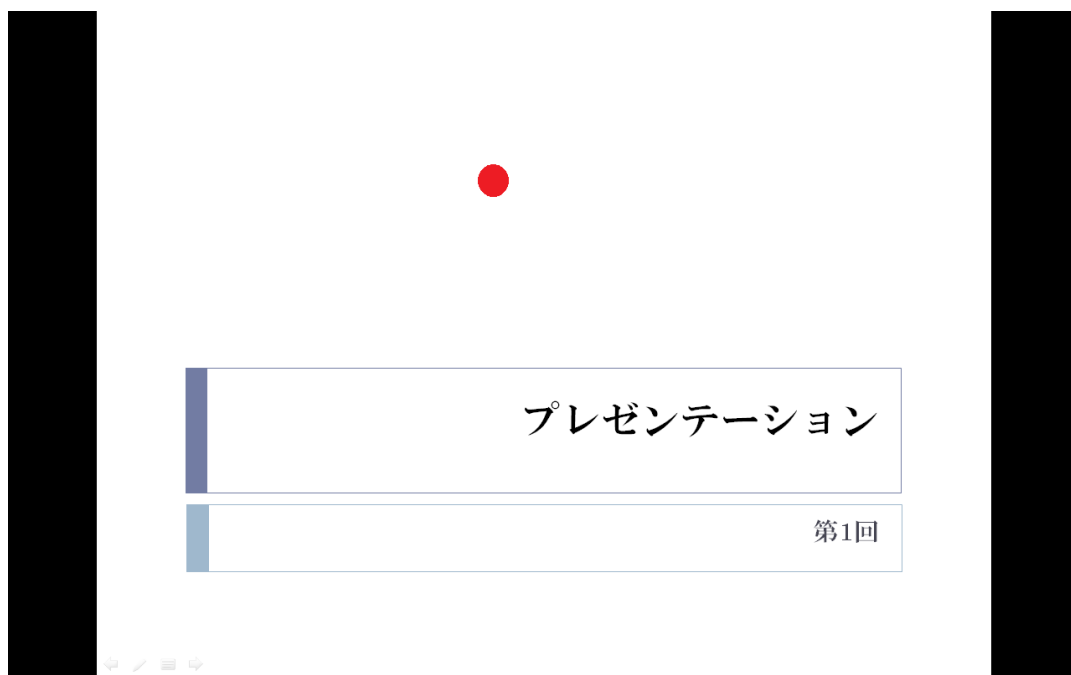
4-1. ソフトウェアレーザービーム

通常のレーザーポインターでモニターを照射すると、モニターの光にレーザービームが吸収され見えなくなります。

ソフトウェアレーザービームでは議事レーザービームを画面上に表示します。

- ①□ 「ソフトウェアレーザー」 ボタンを押すと、画面にレーザービームが表示されます。ボタンを放すとレーザーは消えます。
- ②□ 本製品を上下左右に動かすとレーザービームが画面内を移動します。

※ 「ジャイロボタン」でマウスカーソルをロックしていても「レーザービーム」ボタンを押しながらマウスカーソルを移動させることができます



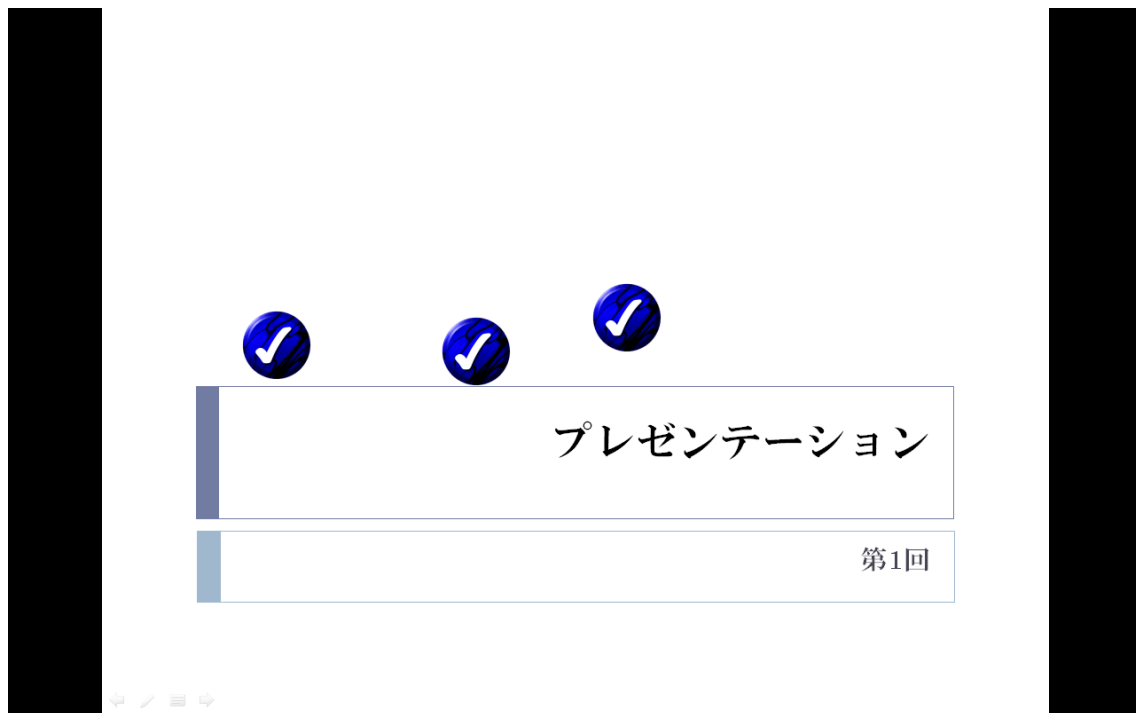
4-2 クリップアート

- ①□ 「クリップアート」をいずれかのキーに割り当てます。
- ②□ カーソルを操作し、「クリップアート」を割りあてたボタンを押すと、画面上にクリップアートが配置されます。

※マウス右ボタンをクリックすると最後に配置したクリップアートを削除します。

※マウス右ボタンを一定時間押し続けると、すべてのクリップアートを削除します。

※クリップアートを配置した状態でマウス左ボタンを押したままカーソル移動をおこなうと、最後に配置したクリップアートの移動をおこないます。



4-3 スポットライト

- ①□ 「スポットライト」をいずれかのキーに割り当てます。
- ②□ 割り当てたキーを押すと始点の位置を決定します。
- ③□ そのままボタンを押した状態でカーソルを操作し、終点の位置まで移動します。
- ④□ 始点と終点とに囲まれた範囲がスポットライトとして表示されます。

※マウス右ボタンをクリックするとスポットライトを取り消します。

※マウス左ボタンを押したままカーソル移動をおこなうと、スポットライトの位置を変更できます。

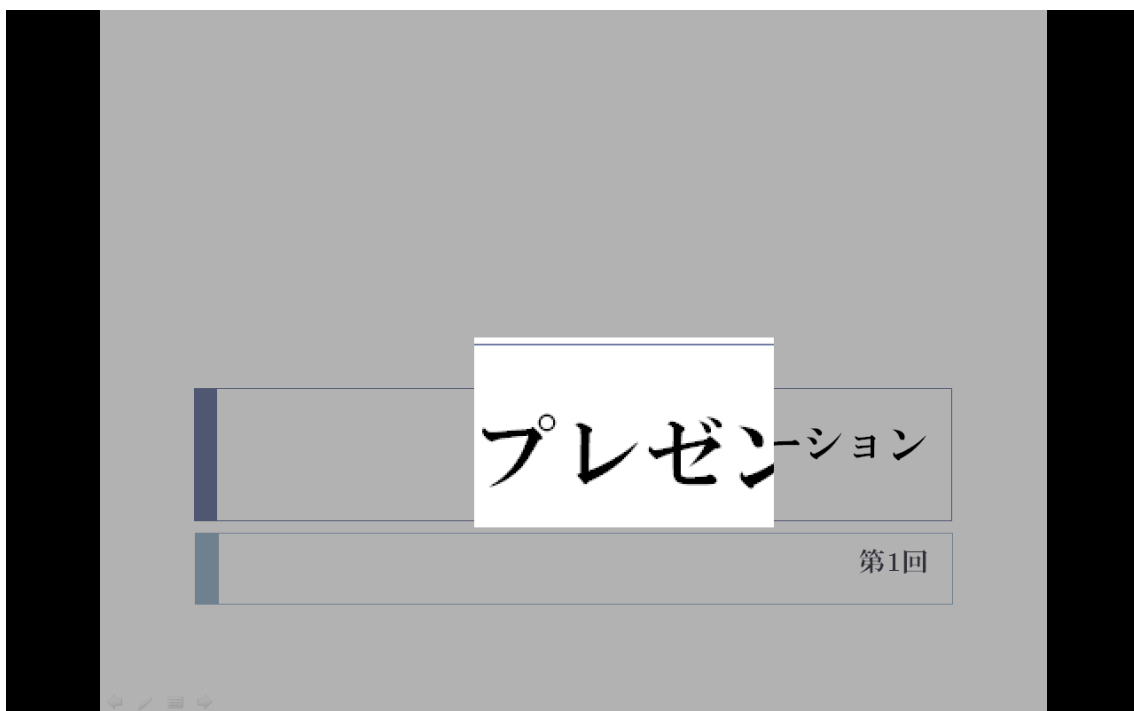


4-4 ズーム

- ①□ 「ズーム」をいずれかのキーに割り当てます。
- ②□ 割り当てたキーを押すと始点の位置を決定します。
- ③□ そのままボタンを押した状態でカーソルを操作し、終点の位置まで移動します。
- ④□ 始点と終点とに囲まれた範囲がズーム表示されます。

※マウス右ボタンをクリックするとズーム表示を取り消します。

※マウス左ボタンを押したままカーソル移動をおこなうとズーム位置を変更できます。



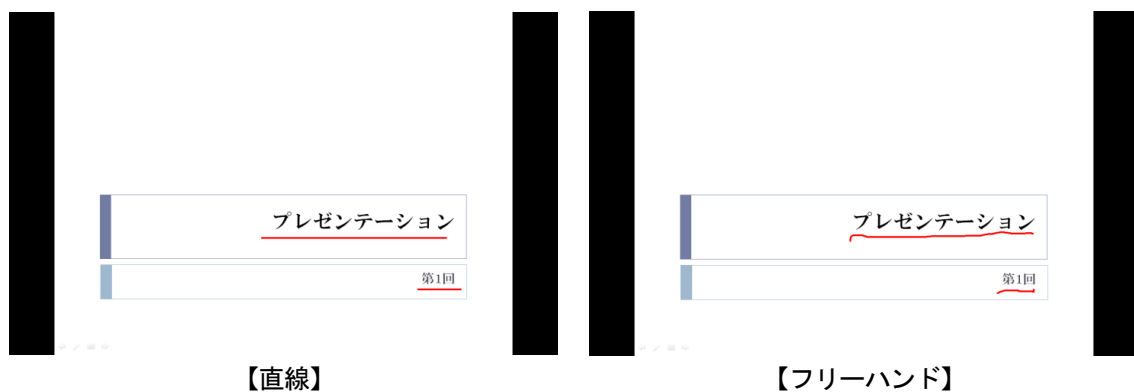
4-5 ペン

- ①□ 「ペン」をいずれかのキーに割り当てます。
- ②□ 割り当てたキーを押したまま、カーソル移動をおこなうと、画面上に線が描画されます。

※マウス右ボタンをクリックすると最後に作成した線を削除します。

※マウス右ボタンを一定時間押し続けると、すべての線を削除します。

※マウス左ボタンを押したままカーソル移動をおこなうと、最後に描画した線の変更できます。



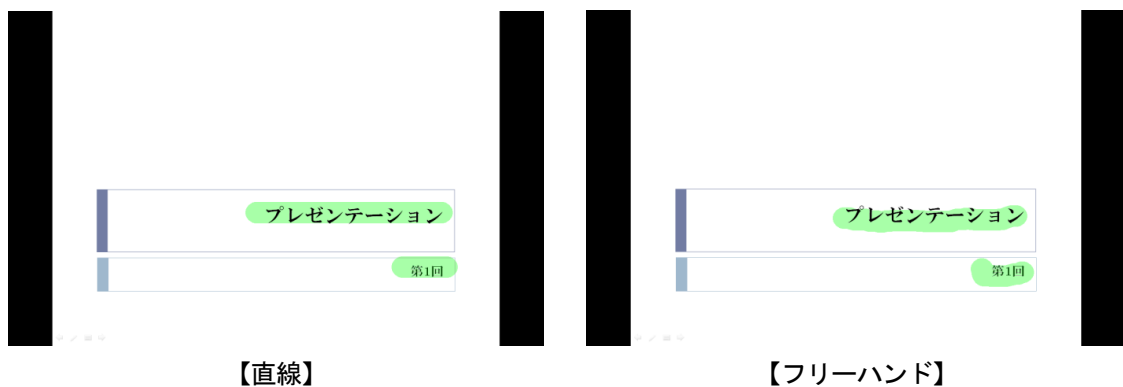
4-6 蛍光ペン

- ①□ 「蛍光ペン」をいずれかのキーに割り当てます。
- ②□ 割り当てたキーを押したまま、カーソル移動をおこなうと、画面上に線が描画されます。

※マウス右ボタンをクリックすると最後に作成した蛍光ペンを削除します。

※マウス右ボタンを一定時間押し続けると、すべての蛍光ペンを削除します。

※マウス左ボタンを押したままカーソル移動をおこなうと、最後に描画した蛍光ペンの位置を変更できます。



5. サポート

5-1. 困った時には

症状	原因	対策
急にLEDが緑色に点滅し、マウスカーソルが正常に動作しません。	電波干渉	電波干渉を起こす物体から離し使用してください
マウスカーソルが正常に動作しません。	本体が正しく初期化されていない可能性があります。	本体の電源を入れなおしてください。
マウスカーソルの動作が安定しない。 (カーソルが細かく震える)	マウスポインターの速度設定は速すぎる可能性があります。	「コントロールパネル」→「マウス」→「ポインターオプション」にてカーソル速度を調整してください。
タスクバーのzmotion2アイコンがグレーで表示される。	受信機がパソコンに認識されない可能性があります。	ソフトウェアを終了し、受信機を挿しなおし、再びソフトウェアを起動してください。

5-2. よくある質問

- 【Q】 自宅のPCでキーを設定しましたが、会社のPCで使うときに、再び専用ソフトウェアをインストールし、キーを再設定する必要がありますか？
- 【A】 本製品のキー設定は内蔵メモリーに保存されており、PCを変えてもキー設定は受け継がれます。
キー選択リストに*がついていない項目はそのままお使いになれますが、*がついている項目はzmotion2ソフトウェアのインストール及び実行が必要となります。
- 【Q】 キーの設定で「電源を切る」機能をボタンに割り当てましたが、実際に使用するとPCはスリープ状態に入りました。
- 【A】 本機能はPCの電源ボタンと連動しており、電源ボタン操作時と同じ動作をします。お使いのPCでは電源ボタンにスリープ機能が割り当てられている可能性があります。
電源ボタンの動作は「コントロールパネル」の「電源オプション」で変更することができます。
詳しくはお使いのPCの取扱説明書及びWindowsのヘルプをご確認ください。
- 【Q】 本体の電源をONにしていますが、しばらく放置すると、インジケータが消え、電源が切れてしまいました。、故障でしょうか？
- 【A】 本製品は節電のため、約40分間使用されていない場合、スリープモードに入ります。本体のいずれのボタンを押すと通常状態に戻ります。